

最初のこと、思ひます。熱と南京油の煤で暖めて中國へ寄へやうな粗食でやつと金とつなぎ下り雨が降らうと、風が吹かうと夜の明けぬ内から皆様の家に新空を届けて居るのです。新空紙と言へばうな文書の象徴とも言ふべき文化、機関が、なぜ然々配達とこんなにおどる事不快にして旅客の寝たも旅館一棟で顕えてゐなければならぬ様な奴隸状態を強制するのでしょうか? 中外商業の支局の中に配達に旅飯を喰はせてゐるところすら歩くないのです。數千の配達の身体が被せ細くに反比例して一つの新空社の資本丸が肥って行く。之は人の恩情傳ふる列管も近代文明の代表を以て任する新空社と是の關係は別でない。ではあります人か、金で悲惨な生活を経験され未だ私達はつゝく、待遇改善の嘆願高ぶるこゝにはあれなくなりたまひま。壁紙の内装は月給を現金で廿五円札にて是れと云ふこと、強制勤務をやらざなりを実施と云ふことの中にひま。今時月給を木五日にして是れと當然せざるを得ないなんてなんたら惜ない事です。

強制勤務だって法律でも禁じてある拘束させられて来たのです。二人は当然さう程当然な、寧ろ難きに過ぎる程当然な壁紙書き出しぬはならぬことを社會に対しても自ら自身に対する報酬として報酬として感してゐる位です。しかるト卑劣なる本社側は言々左右にして解雇せしむるのみが私達配達一同を解雇しようとしたうひも、それでは早く私達は前傷者(最後の手段を百ストライキを取られ)どうぞお詫びします。

五月十日 中外商業新空社新空配達員一回

別記(四)

中外商業新空社新空配達員一回

諸君は吾々の要求を見たであらう。吾々はさう新空配達が今少し人间らしい生活をしたいために起つたのだ。吾々は吾々のみでなく全新空配達員のために起つたのだ。(不当解雇せんとする紫荘から暴虐した御年寄東洋の事件)

ストライキの浪は新宿、銀座が中心となり××××××

へ発表は本社に於する戰術上××を使ふの配達員統一議に加盟して引

きあが準備が完了して、本部よりの通知次第引あげて来ることになつてゐる諸君! 今だ! 朝! 今だ!

直に起つては今だ! 日常の不平や不満を激漫な本社にだ、べつやう!